2026 年 7 月

アルパインプレゼンツ 第 5 回 宮本慎也杯 女子中学軟式野球大会 試合要項

1：適用規則については、2026 年公認野球規則（軟式）及び大会規則を併用する。

2：試合はトーナメント方式 7 イニング制とする。
1日目・出場 16 チーム 3 会場でトーナメントを行う。
・1日目の各グループトーナメントの結果に基づき 2日目の試合を決定する。
（※募集要項／〈留意事項〉「大会トーナメントと 2 日目会場割り振り」参照）
2日目・きずなスタジアムで決勝トーナメントを行う。
・田ヶ谷/大利根野球場/大利根中学校では 1 日目の結果に基づき交流試合を行う
（※募集要項／〈留意事項〉「2.2 日目の試合について」参照）
※2日間実施できない場合は順位を決定せず初日のトーナメント戦のみを行う。

3： 3 位決定戦は行わない。

4：3 回終了 10 点差、5 回終了 7 点差にてコールドゲームとする。（決勝戦を除く）
※5 回終了時点で試合成立とする。

5：決勝戦のみ特別延長ルール
※勝敗が決しない場合は抽選とする。
《特別延長ルール》
ノーアウト 一、二塁・継続打順・一塁走者は前回の最終打者、二塁走者は順次前の打者とし、最大2 イニングを行う。勝敗が決しない場合は、大会進行状況を大会本部が判断し抽選とする。規則により認められる選手交代は許されるが、代打・代走は正規の選手が一旦所定の位置に着いてから交代する。
《抽選》
試合終了時に守備についていた選手9人で行う。

6：試合開始後 1 時間 30 分を過ぎて新しいイニングには入らない。但し、1 時間 30 分を経過したときリードしているチームが裏の攻撃中の場合は、次の回を最終回とする。（決勝戦を除く）
※7 回終了同点時、試合時間内に限り延長戦を行う。勝敗が決しない場合は抽選とする。

7：熱中症対策として、守備時間が約 15 分を超える場合及び審判員の判断にて、守備側、攻撃側共にダッグアウトに戻り給水タイムを設ける。
※試合時間は止めない
上記の対応含め熱中症警戒アラート時は、試合開始から約 30 分／約 60 分経過時にダッグアウトにて各 5 分間のクーリングタイムを設けるため、90 分ゲームから 80 分ゲームに変更する。※試合時間を止める

8：本大会の登録選手人数は 50 名までとする。
但し、各試合の選手登録はメンバー表記載の 25 名までとするが、試合毎に選手登録を変更する事が出来る。
※1 チームのメンバーは監督、コーチを除き、9 名以上 50 名以内とする。

9：ダッグアウトは組み合わせ番号（記号）の若いチームが一塁側とする。

10：野球競技場は女子軟式野球サイズにて行い、グランドルールは各会場の指定するルールに従う。
※本塁から投手板までの距離は 17m で行う。 ※塁間の距離は 25m で行う。

11：相手チームや審判員へのヤジは禁止とする。
※自チームへの声掛けを否定するものではありません。マナーアップを目的として試合要項に記載しております。
試合をしている選手の子供たち、相手チームに対しても試合をして良かったと思えるような対応願います。
・攻撃側のチームが守備側のチームに対して、投球時にボークを誘発するような声かけ。
例）「走った！」、「逃げた！」
・守備機会の時に失策を助長するような声かけ。
例）「やるぞ」、「落とせ」という声かけ。
・攻撃側のチームが投球後に審判の判定をまたず「ボール」といったりすること。

12：大会規約に違反した行為が発覚した場合は審判員及び事務局の判断で失格とする場合もある。

13：試合会場のダッグアウトに入れば人数は不問とする。
但し、グランドイン出来るのはユニフォームを着た監督、コーチ及び選手とする。
※背番号の有無は不問とする。
※選手の為のサポート父母はダッグアウトに入る事が出来る。
※試合中のダックアウト内での撮影は禁止とする。
※ユニフォームを着用していない、チームのコーチ・スタッフ等の方がグラウンドインする場合は当日、事務局にお声かけください。

14：危険防止の為の用具は必ず使用する。
・シートノック時の補助選手、試合時のグランド内にいる攻撃側の選手(ベースコーチ含む)ならびに両チームのボールパーソンは打撃用ヘルメット、守備側の捕手は防護用ヘルメットを着用、且つ投手の投球受ける際はマスク着用すること。
※シートノック時のコーチのヘルメット着用については安心、安全のため極力着用下さい。
・捕手はファウルカップ着用を推奨する。
・イニング間の投球練習については監督、およびコーチが受けることは可能とする。

15：イニング間の投球練習について

・原則選手間で行うものとする。

・サブキャッチャーが居ない、受けられる選手がいないといったやむを得ない場合においては監督、コーチが受けることを可能とする

※監督、コーチの防具及びキャッチャーマスクの着用については任意（自己の判断に任せる）とする。

16：チームは試合開始の 30 分前までに、メンバー表（5 枚）を大会本部に提出する。試合開始予定時刻になっても会場に到着しないチームは、原則として棄権とみなす。

17：本大会は特別指名打者（EDH）を採用することが出来る。

・特別指名打者（EDH）に伴う「特別ルール」(10人攻撃)

・守備を行う９人に加えて１人攻撃のみ参加するメンバーの、合わせて 10人で攻撃を行う制度

・EDH を採用するチームは、チームのベンチ入りメンバーが 10 名以上である必要がある。

・EDH は 1人までで、攻撃のみの選手。

・EDH の打順は１～１０番のどこでもよい。

・EDH の選手に代打、代走を送ることが出来る。

・EDH の選手も途中から守備につく事が出来る。その時の打順は変わらずに攻撃にも参加できる選手となる。

・EDH の選手が守備についている選手と交代して守備につく場合、守備についていた選手は、攻撃のみとなるか、控えの選手が EDH として出場する。但し打順は変わらない。

・EDH を採用したチームは、試合終了まで EDH を採用しなければならない。尚、試合途中から EDH の採用は出来ない。

・DH の適用はない。

18：本大会はリエントリー（再出場）する事が出来る。

1人でも多くの選手に出場する機会を増やすことを目的とします。

・スターティングプレーヤーはいったん試合から退いても、一度に限り再出場する事が出来る。

・再出場する場合には、自己の元の打順を引き継いだプレーヤーと交代し、元と同じ打順に入らなければならない。
この場合、守備位置は変更しても構わない。

・EDH スターティングプレーヤーの選手もリエントリーに含まれる。

※投手の障害リスクを高めるような再登板を推奨しない。

※複数の交代選手が使われる場合でも、交代した先発選手の打順を変更することのないよう注意する

【リエントリーに関する違反】以下の場合は違反となる

・先発メンバー以外の選手が再出場した時

・再出場した選手が退いた後、3 度目の出場をした時**【リエントリーに関する違反が判明した場合の措置】**リエントリーに関する違反は、相手チームから審判にアピールがあった時に以下の措置を取る。

・違反者は正しい交代者と交代する。

・違反が判明した時、それまでの全てのプレイは有効である。

19：ベースコーチは選手が行うこと。（監督、コーチによるベースコーチを認めない）

20：1日における試合の投球数は 100 球以内とする。

但し、打者と対戦途中で制限投球数に達したときはその打席が完了するか、打席中に攻守交代になるまで続投できる。

21：申告敬遠の適用はしない。